



令和6年9月6日

ブルーカーゴ株式会社

(第82回) 8月度安全衛生委員会

開催日 2024年9月6日(金) 11時～ (前回8月6日)

開催場所 三重製作所第一会議室

- 1) 全員唱和 (西村寿洋)
- 2) 開会の挨拶 (副安全衛生管理者)
- 3) 8月発生事故検証 (対象関係推進員)
- 4) 報告事項
 - ①NTN 三重製作所安全衛生委員会要旨報告 (新妻部長)
 - ②安全パトロール報告 【リスクアセスメント】 (西村寿洋)
 - ③各部署別安全取り組み結果及び計画 (各推進員)
 - ④ヒヤリ・ハット報告及び内容確認 (水谷取締役)
 - ⑤衛生管理者・安全管理者 報告 (西村寿洋・新妻部長)
 - ⑥その他 (要望、意見、連絡等)
- 5) 次回 9度(第83回) 安全衛生委員会開催
10月 日 (曜日)
- 6) 閉会のことば (総括安全衛生管理者)

安全は すべてに 優先する。

安全管理の基本理念

- 1)安全は全てに優先する。
- 2)安全なくして生産なし
- 3)生産なくして会社の繁栄なし
- 4)会社の繁栄なくして従業員の幸せなし
- 5)安全管理の原点は人間愛と責任感である

安全監督者管理の5大任務

- 1)安全衛生の確保
- 2)品質の維持向上
- 3)生産目標の達成と納期の厳守
- 4)原価低減
- 5)職場の人間関係の向上

平成30年1月6日

”ご安全に、”

1) 天災で事故が起きる事は通常は無い。

ほとんど「人」によるヒューマンエラーで起きるが、
絶えず原理原則に結びついている。 (分かっている)

2) 運転している者が、絶えずすべてが見えて、状況を
把握しているとは限らない。

ならば

事故ゼロを目標にするなら、全員の協力は欠かせない。



内閣府

(人身、物損)作業事故報告書

水谷社長 殿

提出日: 6年8月8日

報告者 ブルーカーゴ課

印

分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.衝突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能							
内容	事故内容を簡単明瞭に		発生日時	2023年8月1日(木) 16時45分				
	製品との激突		当事者					
場所	発生場所	車番	天候	輸送部				
対象	製品又は対象物	内訳	総会	直近の従業員総会に参加した・不参加				
事故発生	時系列で短く分かり易く		略図又は写真:					
	<p>① 製品をリフトに積んでバックで倉庫内に入った。</p> <p>② 記憶では、荷物は岡山行きの列に置くと思っていた。</p> <p>③ 場所の確信が無い為、既に並んでいる物を見た。</p> <p>④ 運び込んだ物と同じものが無かった。</p> <p>⑤ そのまま荷物を置いて一旦トラックに戻る。</p> <p>⑥ 車内にあるメモでは、先程の場所は指定場所では無かった。</p> <p>⑦ 再度製品を取りにリフトで倉庫内へ入った。</p> <p>⑧ 製品を積み、後進で左側の置き場表示を順次確認。</p> <p>⑨ 左側に無かった為、右側の置き場も後進で確認開始。</p> <p>⑩ 置き場表示を気を取られ通路の製品に気付かなかった。</p> <p>⑪ 事故発生</p>							
原因	状況の内、どこが事故発生に直結したか		事故処理	直後対応				
損害	[修理・選別・廃棄]		事故品	永田主任 → 7R-7-2 → 新妻部長				
	損害金額	千円	類似事故は?	北智運送所長 → 課長				
再発防止	人的	経験不足で置場の知識が不足していた。						
	設備	置場位置のレイアウトを作成。						
上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く				日付	8月20日		
(写)送付先		総括安全衛生管理者	副安全衛生管理者	運行管理者	事務局	安全管理者	衛生管理者	安全推進委員
注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白								
注)②事故発生後2日以内に提出								





(人身、物損)作業事故報告書

水谷社長 殿

提出日: 2024 年 8 月 6 日

報告者 ブルーカーゴ課

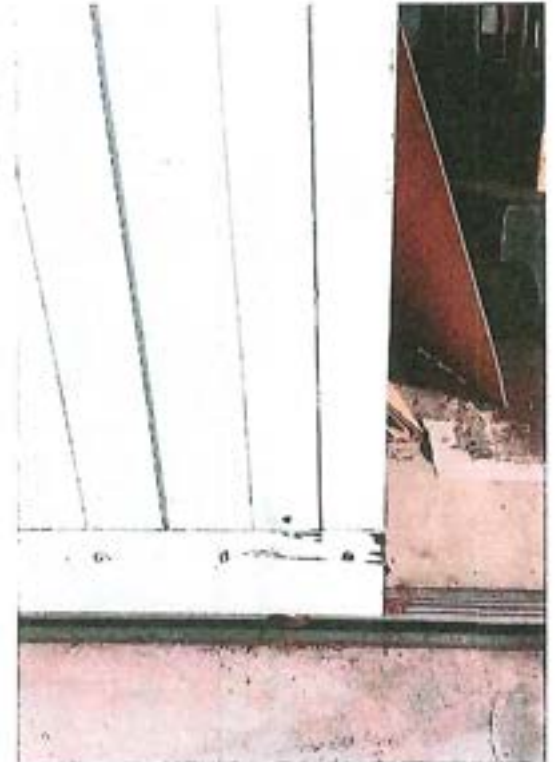
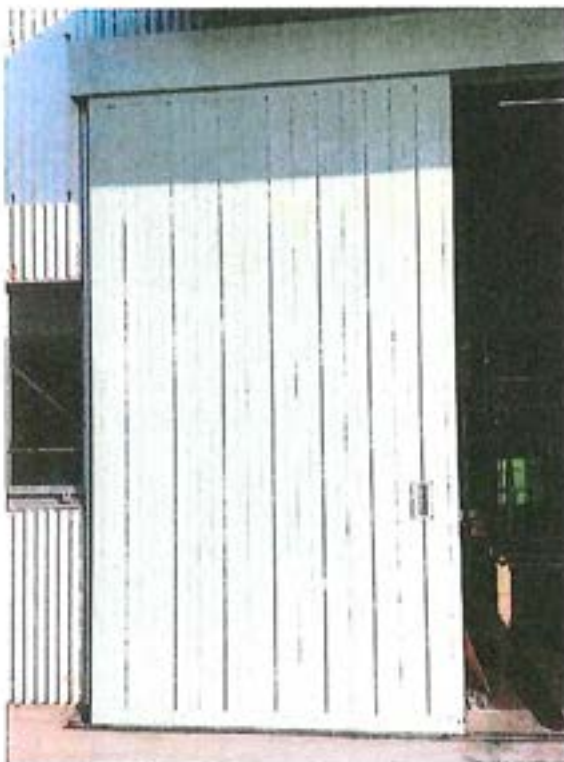
印

分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能						
内容	事故内容を簡単明瞭に ホリケース、荷台から落下	発生日時	2023 年 8 月 6 日 (火) 11 時 45 分				
場所	発生場所 NTN三重製作所 出荷場	車番	三重100連1814	天候	晴れ		
対象	製品又は対象物 31320XUEH ローラー	内訳	入数×箱数 70個×2箱	總會	直近の従業員総会に 参加した・不参加		
事故発生	時系列で短く分かり易く	略図又は発生状況					
	① 長尺リフトに2トランクから右側の荷脚し作業をしようとした ② 荷台にあるパレット1枚×2枚にリフトの爪を乗せようとした ③ 左側に干渉するものがないか目視にて確認して爪を左側に移動させた ④ 爪の手前側に積んだ11Eパレットとトランク荷台に干渉していたパレットのホリケースが干渉した ⑤ パレットに積載された11E4箱のうち2箱が落下した ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ 事故発生	 					
原因	状況の内、どこが事故発生に直結したか ・後退するときリフト右側の荷物に干渉してないか目視しなかった ・PPAントで荷物を積む	事故	直後対応	永田主任へブルーカーゴ折衝部長 品質保証課へ報告 → 生産管理課 上原氏へ			
損害	事故品	[修理・選別・廃棄]	類似事故は?	処	事故品		
	損害金額	千円	有り・初めて	理	選別		
再発防止	人的設備	(人が対応する内容) ・リフトで荷下ろしをするとき、右側荷物に干渉しないか目視で確認してから、リフトを後退させる ・ホリケース積載する時は、PPAントで積むようにする(PT9) (設備で対応)					
上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く リフトで荷下ろしをする時は、荷物と干渉しないか目視して作業が完了しているか。				日付	8月21日	
(写)送付先	総括安全衛生管理者	副安全衛生管理者	運行管理者	事務局	安全管理者	衛生管理者	安全推進委員
注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白 注)②事故発生後2日以内に提出							



(人身(物損))作業事故報告書

水谷社長 殿		提出日: 2024年8月9日		報告者 ブルーカーゴ課		印	
分類	1.転落・墜落 2.転倒 3.激突 4.飛来・落下 5.崩壊・倒壊 6.激突され 7.はさまれ・巻き込まれ 8.切れ・こすれ 9.踏み抜き 10.おぼれ 11.高温低温の物の接触 12.有害物との接触 13.感電 14.爆発 15.破壊 16.火災 19.動作判定反応・無理な動作 20.接触 21.その他 22.分類不能						
内容	事故内容を簡明瞭に リフト後方と扉の接触		発生日時	2024年8月9日(金) 6時20分		当事者	
	発生場所 前野アンボール 種付け場		車番	500		部署	
対象	製品又は対象物 扉		内訳	入数×箱数		天候	
事故発生	時系列で短く分かり易く		略図又は写真:				
	① リーチリフトでパレットをトラックに積み作業開始。 ② 荷物置場でリフトに積み前進でトラックまで走行した。 ③ トラックに積み込み、次のパレットを取りに行く。 ④ トラックに積んだ状態のバックで荷物置場に向かった。 ⑤ 荷物置場からAさんのリフトが荷を積んで前進してきた。 ⑥ 衝突回避で、後進継続で荷物置場側へリフトを寄せた。 ⑦ ブレーキペダルを使用せずに、アクセルレバーを前進に入れた。 ⑧ リフトのスピードは落ちたが停止状態では無かった。 ⑨ リフトの運転席からAさんに話しかけた。 ⑩ 完全停止していないリフトは後進を継続していた。 ⑪ そのまま、リフトの後部が荷物置場の扉に衝突をした。						
	⑪ 事故発生						
原因	状況の内、どこが事故発生に直結したか ⑧⑨ ブレーキペダルを踏んではずしてブレーキ解除された状態でのブレーキと話しをしたため		事後対応	① 水谷社長に連絡 ② 堀田課長に連絡			
損害	[修理・選別・廃棄]		類似事故は?	事後対応			
	損害金額	千円	有り・初めて	事故品			
再発防止	人的 (人が対応する内容) リーチリフトに乗り、人と話すときはブレーキペダルを離し、ブレーキがかかる状態になる		設備 (設備で対応) ・リフトに車を止めた状態でしかい ・会話をしている間はリフトから降車する				
上司コメント	漠然と「安全確認」とか「基本動作」の言葉ではなく具体的に書く リフト作業中、なにかをする場合は、きちんとブレーキをかけた状態で行うべき...				日付	8月1日	
(写)送付先	総括安全衛生管理者	副安全衛生管理者	運行管理者	事務局	安全管理者	衛生管理者	安全推進委員
注)①太枠内は当事者記入・不明の部分は空白 注)②事故発生後2日以内に提出							



安全ニュース

<災害速報>



<食堂請負業者で労働災害発生>【休災】

8/20(火) 食堂請負業者(桑名製作所)

閉まる扉の枠に右手人差し指を挟み、被災!(1cm切断)

日時: 8月20日(火) 19時30分頃

被災者: 50歳

勤続年数: 14年8ヶ月

加害物: ボイラー室扉

傷病内容: 右手人差し指1cm切断

発生場所: 製作所内食堂

被災時作業: 扉の開閉作業

経験年数: 14年8ヶ月

起因物: ボイラー室扉

事故の型: はさまれ・巻き込まれ

<災害発生状況>

被災者はボイラーの電源を落とす作業を行い、ボイラー室を出ようとした。扉を背にして右手でドアノブを引き、扉を閉めようとした。扉が閉まりだしたため、扉を背にして扉の内側に手をかけようとした。

その際に間違えて扉ではなく枠に指をかけてしまった。その時に勢いよく閉まる扉と枠に右手人差し指が挟まれて被災した。

※日常的に扉の内側に手をかけて、扉を閉め切るのが癖になっていた(不安全行動)

※扉のドアクローザーが破損しており、扉が勢いよく閉まる状態だった

※扉が勢いよく閉まることを知っていたが、放置されていた



- *扉を開け閉めする際はドアノブを持ち、指等が挟まれないようにする
- *扉等で不安全な状態があれば、すぐに上長に連絡し対策する

掲示期間:8月23日~9月6日まで

(事業場) 三重製作所 熱処理工場	労働災害報告書 (速報) (重大HHT)	総務安全衛生管理者印	人事総務管理部長印	安全主務課長印	事業場長・工場長印	課長印
		作成者 第1熱処理課 平野 史憲			職場 印	

A 災害状況の把握

1)速報(L-11号) ('24年8月26日)
2)報告(L-11-12号) (' 年 月 日)

① 災害発生日時・場所・作業等の概要			② 被災者の特性		
A(年月日) '24年8月24日	B(曜日) 土	C(種別) 平日	D(時間:24H表示) 1:00	E(時間帯) 定時内	F(天候) くもり
G(課・班) 第1熱処理課 ローラーハース4号炉		H(場所) 社内・場内	I(作業区分) 業務・定常	G(生年) (西暦) '12年3月5日	H(性別) 男
J(起因物) 踏み台	K(加害物) バルブ	L(被災時の作業) 測定作業	N(親住所・TEL) TEL()	I(職種) 作業員	J(勤続) 交替
M(事故の型) 転倒	O(視認者) 飯井 正樹	M(単独)作業	P(安全衛生に係る資格・教育・職務) 入社時安全教育 フォークリフト運転技能講習	K(入社) 途中	L(雇用法) 正規

③ 傷病の内容・程度・処置			⑤ (速報発信時、安全衛生主務課長指示)		
A(部位) 左腕(肘周辺)	D(処置方法) 外部医療機関		I(医療機関・主治医・付き添い者および所) ・海南病院 ・付添者:中村班長		
B(性質) 打撲(肘)・診断書無	E(診断書) なし		P(職場経験) 第2熱処理課 12年7月~19年3月 生産係 第1熱処理課 19年5月~ 生産係		
C(程度) 加療 見込み	F(休業開始) 月 日 ~ 月 日	G(暦日数) 日	H(診断書) 日		

④ 災害の発生状況

①出来るだけ簡潔に記入する。
②SWHで出来るだけ簡潔に具体的な事実を記入する。
③事実であれば被災者の心理状態の記入は可、但し否定的に書かないこと。

⑥ 現場見取図および組織図

24日 AM1:00頃作業員は、ローラーハース4号炉にて品種切り替え後の先頭抜き検査を行う為準備をしていた。

検査完了まで、製品が焼戻炉へ入らないよう(※1)ストッパーを設置しようとした。

当該炉にストッパーが無かった為、となりのローラーハース3号炉へ取りに向かった。

踏み台の二段目から一段目に足を付けた際に滑り、斜め後方へ転倒し洗浄水循環ポンプバルブ(※2)へ被災箇所を打ち付けた。(階段通路には滑り止め塗装(写真②)は実施されていた。)

被災直後被災者は、気が動転しており、めまい・吐き気の症状があった、約1時間程度休憩を取ったところめまい・吐き気の症状は改善されたが、腕の痛みが引かないことより、医療機関を受診した。

※ ストッパーは2種類あり、被災者は長いストッパーを選んでいた。
1 (短いストッパー:795mm) 2 (長いストッパー:1070mm)

※ 循環ポンプバルブは、常時閉となっており、バルブより先の配管は撤去されていた。

写真①ストッパー 写真②洗浄槽階段



写真③階段を踏外し(滑り)転倒 ※被災箇所

管理・監督者(課長) 水谷 安智 (課長) 平野 史憲 (班長) 中村 優介

組織図:
工場長
課長
係長
班長
被災者

総括安全衛生管理者	管理部長	安全管理者	部門長	課長	作成者
川端	川端	吉	伊藤	野中	石垣

HHT 発生連絡

(いつ) 発生日時	2024年8月27日(火) AM10:30頃
(何処で) 発生場所	軸受工場 テーパー製作課 内輪2ライン インター機
(誰が) 被災者	
何をしていて 業務内容	段取り時の砥石クイル交換作業
(どうなった) 被災状況	緩まった反動で右腕がローターカバーに当たり擦り傷を負った。
(災害状況) 発生経緯	<p>8/27(火) 10:30頃、段取り切り替え作業に入った。砥石の種類が変わることから、クイルの交換を行った。スパナ(46mm)を使用し緩めた際に、ローターカバー上部と添えていた右手が当たり、右腕前腕部を5cm程擦りむいた。作業者は、特に焦って仕事をしていなかったが、いつも行っている作業から、特に危険予知も行わずに作業を行った。</p>  <p><要因> ・ローターカバーにバリが出ていた。</p> 

関係者 各位

管理部 安全・環境管理課

秋の全国交通安全運動における立哨実施 案 について

標記について、9月21日(土)～9月30日(月)の10日間は、秋の全国交通安全運動が実施されております。この運動は県民一人ひとりがより一層交通安全意識を高め、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、悲惨な交通事故を防止することを目的としています。

つきましては、三重製作所におきましても交通安全活動の一環として、下記事項を実施しますので、ご協力お願いいたします。

記

1. 【実施内容】

- ・退勤時における交通安全立哨

2. 【日時】

- ・交通安全期間中に実施します。後日実施予定者の皆様のみご連絡します。

3. 【チェック項目】

- ①シートベルト着用状況確認(後部座席を含む)
- ②白線を跨いでの走行・駐車
- ③運転中の携帯電話使用
- ④駐車場内止まれ標示・公道に出る際の一旦停止
- ⑤その他(駐車場内速度 20km/h など)

4. 【実施場所・実施者】

場所	実施者	
① 軸受工場 正面出入り口	白戸課長	労働組合 執行委員
② 軸受工場 第2,3駐車場出入り口	因課長	労働組合 執行委員
③ 軸受工場 第2駐車場内 第3駐車場内	宮崎委員長 事務局 水谷	柴田副委員長 労働組合 執行委員
④ モーター工場 社員駐車場出入り口	前田課長	事務局 佐々木
⑤ モーター工場 東側交差点	熊谷管理職	山本課長
⑥ アイスパーク野球場 西側交差点	水谷(安)課長	労働組合 執行委員

5. 【立哨に際して】

- ・実施日については、他言無用でお願いいたします。
- ・当日にタスキを配布しますので着用願います。
- ・実施場所①②③の当番の方は各自で行って頂くようお願いします。
- ・実施場所④⑤⑥の当番の方は社有車にてお送りいたします。

以上

対応

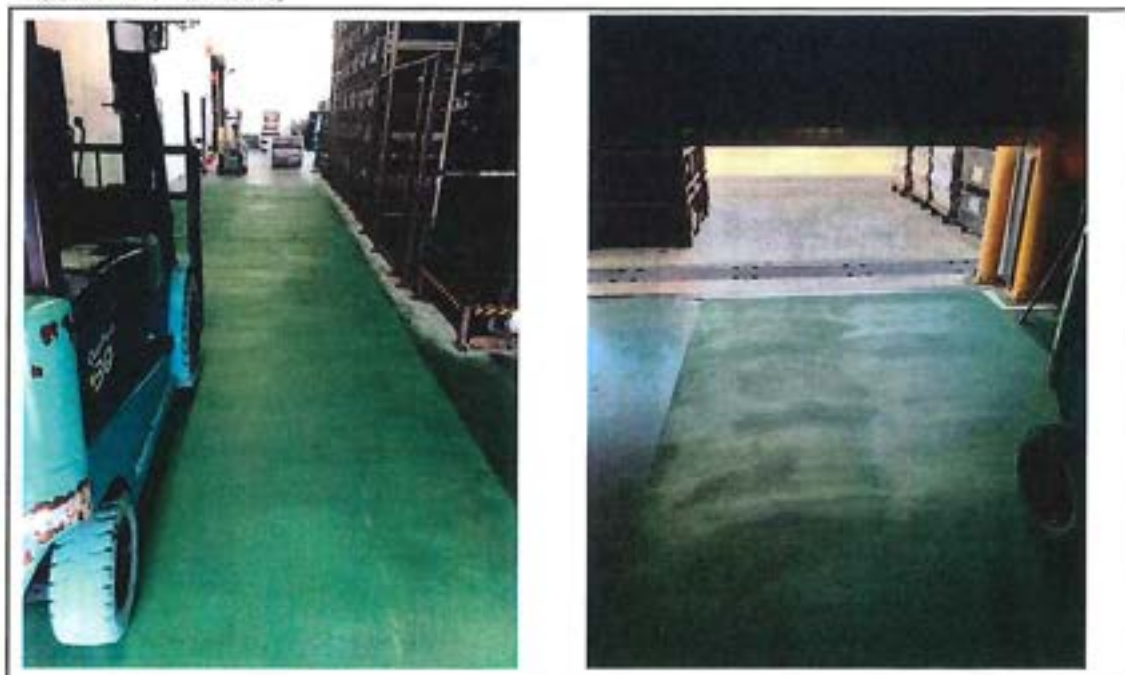
- ・滑り止めテープを活用して、滑らないように対策する。
- ・滑り止めテープについては、NTN三重製作所様の支給品と長良通源購入品を使用する。

対策後の状況写真



○入荷場の滑り止め対策について

特に雨天時に、効果を発揮しております。
ご対応ありがとうございました。



実施日①:令和6年8月6日(火)

実施時間:午前10:00~10:50

立会者:大塚副部長、新妻部長




実施者:西村

実施日②:令和6年8月29日(木)

実施時間:午後3:00~4:00

立会者:大塚副部長、福田課長

実施者:西村

No.	ハザード (危険種)	危険・有害状態の発生・出し	リスクアセスメント						リスクコントロール			対策後の 残留リスク検証		対策前写真	対策後写真	
			リスクの発現性			リスクレベル評価		法令に 照らし て問題	改善 優先 順位	対応策			リスクレベル 再評価			検証
発 生 頻 度 A	発 生 可 能 性 B	近 づ く 発 生 C	リスク ポイント	リスク レベル	有 無		何をどのように			担当	期限					
1	<場所> ・作業工程 ・設備器具	(注視時)〇〇が△△して□□になり、または〇〇が△△なので□□になる等と危険を認識する	2	2	3	7	II	無	1	柵内パレットの間に滑り止め用段ボール板を挟んで積み直した。対策を始めて間もない為作業者に改めて周知しました。	大塚副部長	8/23 8/7	I	西村		
2	<リフト運出現場> ・工場外構内	工場建屋に当たっている歩行者道路上に、空の木製パレットが複数が置かれており、置きによる転倒災害の危険を認識する。 (積載パレットの建屋衝突防止目的に木製パレットが置かれている)	2	4	4	10	II	無	1		大塚副部長	9/20				
3																
4																
5																

①リスクポイント(合計値)を基に、
リスクレベルを評価し、対策を実行します。
②リスクポイントの大きい順に
優先度を決めます。

発生の程度(A)		発生可能性(B)		危険に近づく程度(C)		リスクポイント	優先	評価	対策方針
死亡、永久労働不能	10点	確実である	6点	頻発(毎日)	4点	16~20	IV	即時対応	作業を中止して対策する
重傷、障害の残る災害	7点	可能性が高い	4点	時々(1回以上/週)	3点	11~15	III	優先的	優先的に対策する
休業災害、不休業災害	5点	可能性がある	2点	少ない(1回以上/月)	2点	7~10	II	計画的	計画的に対策する
軽微の軽少災害	2点	少ない	1点	極めて少ない(1回未満/月)	1点	4~6	I	教育等	残存リスクに応じた教育をする

フォークリフト運転パトロール① **合格**
リフト課

日時 2024年8月6日(火)10時～11時
パトロール者 西村
問診者 G
立ち合い者 大塚、新妻

チェック項目	詳細内容	満点(10点)	記事
1 一旦停止	①止まれ位置で一旦停止するが、一旦停止ではどのような動作をとらなければならないのか？ ⇒徐行ではなく、完全停止する。教習所では3秒間は停止するよう指導している。	10	徐行ではなく、完全停止
	②一旦停止後に発進する際、どのようなことに注意して何を確認しなければならないのか？ またその際に、指差呼称しているか？ ⇒指差呼称にて左右と前方の安全を確認している。(実際にやってください。○○ヨシ！)	10	指差し呼称で左右前方確認
2 走行速度、3つの急	③リフトの工場内及び構内制限速度は何km/hか？ ⇒工場内4km/h、構内10km/h	10	工場及び構内、夫々上限は4km/h、8km
	④リフト走行時に、してはならない“3つの急”の付く動作とは何か？ ⇒急発進、急停止、急後退	10	
3 走行中に注意すべきこと	⑤リフト後退時に、確認すべきことは何か？またその際に指差呼称しているか？ ⇒指差呼称にて後方の安全を確認している。(実際にやってください。○○ヨシ！)	10	指差し呼称で後方確認
4 積み高さ	⑥パレット段積みの際、パレットとパレットとの間に何を敷くか？ ⇒段ボール平板	10	
	⑦その理由何か？ ⇒パレット底部に付着したゴミ汚れの荷物への侵入防止、パレットの滑り防止	10	滑り防止
	⑧複数あるパレット(2枚以上)を段積みする時のルールで、以下の何れが正しいか？ A:積み段数の最も多いパレットを最下段に置く B:積み段数の最も多いパレットを最上段に置く C:積み段数の多い少ないに関係なく、任意で置く ⇒A	10	積み段多いパレットは最下段に置く。
5 始業点検	⑨始業点検は毎日正しく実施されているか？もし不具合や不良が発見されたら、何をしなければならないか？ ⇒上司に報告し、修理等の対応をする。	10	始業前点検実施
6 過去トウ	⑩7月に発生した事故の内容を知っているか？ ⇒①7/22輸送 NTN三重第1熱リフトによる半製品WI転倒 ②7/25輸送 東伸熱リフトによる倉庫シャッター支柱激突 ③7/26輸送 NTN三重出荷場リフトによるパレット積載荷物転倒	10	7/26発生事故の内容・原因・対策を説明。
合計		100	合格

採点は減点式とする。

全10項目あり、100点満点とする。

各項目にて不合格であれば0点。不合格の理由と指導内容を記事に記載する。

90点以上が合格

不合格者は教育し、再評価する。

フォークリフト運転パトロール②

リフト運

合格

日時 2024年8月29日(水)13時～18時

パトロール者 西村

問題者 H

立ち会い者 大塚、新妻

チェック項目	詳細内容	減点(10点)	記事
1 一旦停止	①止まれ位置で一旦停止するが、一旦停止ではどのような動作をとらなければならないのか? ⇒進行ではなく、完全停止する。数秒間では3秒間は停止するよう指導している。 (完全停止10点)	10	一旦停止が完全停止であることを把握している。
	②一旦停止後に発進する際、どのようなことに注意して何を確認しなければならないのか? またその際に、これを指導呼称しているか? ⇒指導呼称にて左右と前方の安全を確認している。(実際にやってくさい。〇〇3秒！) (左右前方確認:5点、指導し呼称:5点)	10	前方左右に人が通行していないか、リフトや荷物が置いてないかを「指導呼称」して確認している。
2 走行速度、3つの急	③リフトの工場内及び構内制限速度は何km/hか? ⇒工場内4km/h、構内10km/h (各5点)	10	構内構内ともに制限速度を把握している。
	④リフト走行時に、してはならない「3つの急」の付く動作とは何か? ⇒急発進、急停止、急旋回 (各3点、全問答で10点)	10	3つの急をすると積載物が移動転落する危険があることを理解している。
3 走行中に注意すべきこと	⑤リフト後退時に、確認すべきことは何か?またその際に指導呼称しているか? ⇒指導呼称にて後方の安全を確認している。(実際にやってくさい。〇〇3秒！) (左右後方確認:5点、指導し呼称:5点)	10	後方を「指導呼称」して、確認している。
4 積み降さ	⑥リフト積み降さの際、パレットとパレットとの間に何を置くか? ⇒荷ボーム平板 (平板:10点)	10	
	⑦その理由は何か? ⇒パレットの滑り防止、パレット運搬に付着したゴミ汚れの乗物への侵入防止 (滑り防止のみで可:10点)	10	平板を置く理由を理解している。
	⑧複数あるパレット(2枚以上)を積み降さする時のルールで、以下の何れが正しいか? A:積み降さの最も多いパレットを最下段に置く B:積み降さの最も多いパレットを最上段に置く C:積み降さの多い少ないに関係なく、任意で置く ⇒A その理由は何か? ⇒重心を低くすることで、積載物の傾斜や転倒を防止する (理由まで回答して10点)	10	積み降さの最も多いもの、重き物を最下段に置く理由を理解している。
5 リフト点検	⑨リフトに不具合や不良が発見されたらどうするのか? 例えば、どのような不具合や不良があり得るのか? ⇒リフト管理者に報告し、故障等の対応を依頼する。 油漏れ、異音、タイヤの摩耗・キズ (全問答して10点)	10	特に、マストや爪の損傷やキズに注意している。
6 過去トラ	⑩7月と8月に発生した事故の内容を知っているか? ⇒ ①7/22輸送 NTN工業第1期 リフトによる半製品#1転倒 ②7/23輸送 東神精工 リフトによる倉庫シャッター支柱衝突 ③7/24輸送 NTN工業第1期 リフトによるパレット積載荷物転倒 ⇒ ④8/1輸送 北都株式会社 リフト後退時に床面に置かれたパレットに接触し製品転倒 ⑤8/4輸送 NTN工業第1期 トラック荷台上のパレット積み下ろし中に床のパレット上の製品に接触転倒 ⑥8/9輸送 飲料設備工場 リフト後退時に倉庫壁に衝突損傷 (8/9は安全対策で10点、一部回答は減点)	10	①②③は全問答 ④⑤⑥でも後方及び左右を確認するよう注意している。
		100	

減点は減点式とする。

全10項目あり、100点満点とする。

質問等については、事故の内容・原因・対策が答えられれば、得点なし

各項目にて不合格であれば0点、不合格の理由と指導内容を記事に記載する。

90点以上が合格

不合格者は教育し、再評価する。

合格 指導呼称を実施している。

輸送フォークリフト運転パトロール① **合格**

輸送課

日時 2024年8月8日(木) 15時～16時

パトロール者 西村

質問者 ア

立ち合い者 新妻

チェック項目	詳細内容	満点(10点)	記事
1 一旦停止	①止まれ位置で一旦停止するが、一旦停止ではどのような動作をとらなければならないのか? ⇒後行ではなく、完全停止する。敷置所では3秒間は停止するよう指導している。	10	完全停止と後行の違いについての理解が少し曖昧であったので、指導した。
	②一旦停止後に発進する際、どのようなことに注意して何を確認しなければならないのか? またその際に、これを指差呼称しているか? ⇒指差呼称にて左右と前方の安全を確認している。(実際にやっってください。○○ヨシ！)	10	左右前方確認は出来ている。
2 走行速度、3つの急	③リフトの工場内及び構内制限速度は何km/hか? ⇒工場内4km/h、構内10km/h	10	構内10km/hと回答、工場内での作業がないことから回答は得られず、工場内は4km/hを指導した。
	④リフト走行時に、してはならない「3つの急」の付く動作とは何か? ⇒急発進、急停止、急旋回	10	急旋回が悪い厚かばなかったようだが、理解はしている。
3 走行中に注意すべきこと	⑤リフト後進時に、確認すべきことは何か?またその際に指差呼称しているか? ⇒指差呼称にて後方の安全を確認している。(実際にやっってください。○○ヨシ！)	10	6/8の事故当事者であり、後方確認について改めて指導した。
4 積み姿勢	⑥1レレット段積みの際、パレットとパレットとの間に何を置くか? ⇒段ボール平板	10	完全理解し、回答
	⑦その理由は何か? ⇒パレット底部に付着したゴミ汚れの荷物への侵入防止、パレットの滑り防止	10	滑り止めを回答
	⑧複数あるパレット(2枚以上)を段積みする時のルールで、以下の何れが正しいか? A: 積み段数の最も多いパレットを最下段に置く B: 積み段数の最も多いパレットを最上段に置く C: 積み段数の多い少ないに関係なく、任意で置く ⇒A その理由は何か? ⇒重心を低くすることで、積載物の傾倒や転倒を防止する	10	重心を低くすることが目的と回答
5 リフト点検	⑨リフトに不具合や不良が発見されたらどうするのか? 例えば、どのような不具合や不良があり得るのか? ⇒リフト管理者に報告し、修理等の対応を依頼する。 油漏れ、異音、タイヤの摩耗・キズ	10	上長に報告と回答
6 過去トラ	⑩7月、8月に発生した事故の内容を知っているか? ⇒①7/22輸送 NFN三重第1期リフトによる半製品WI転倒 ②7/25輸送 東神熱エリフトによる倉庫シャッター支柱激突 ③7/26輸送 NFN三重出荷用リフトによるパレット積載荷物転倒 ⇒④8/1輸送 北勢倉庫内でリフト後進に床置きパレットと衝突し製品転倒 ⑤6/8輸送 出荷積荷部し中にパレット角が傾斜パレット上のポリ面に接触転倒	5	7月発生①②が回答できず減点△5ポイント
		80	

採点は減点式とする。

全10項目あり、100点満点とする。

各項目にて不合格であれば0点、不合格の理由と指導内容を記事に記載する。

80点以上が合格

不合格者は教育し、再評価する。

85点合格

過去の事故内容について、把握度が少し不足していることから、情報伝達方法にも問題があるかも知れない旨を新妻部長に報告した。改善を要望します。
事故発生当事者であり、原因である「対象物の目視確認」が不足していることから、定期的に物の確認方法を指導する必要がある。

輸送フォークリフト運転バトロール②

輸送課

合格

日時 2024年8月29日(木) 14時～14時30分

バトロール者 西村

担当者 イ

立ち会い者 野澤

チェック項目	詳細内容	満点(10点)	結果
1 一旦停止	①止まれ位置で一旦停止するが、一旦停止でほどの様な動作までとらなければならないのか？ ⇒停止ではなく、完全停止する。数回停止は2秒間は停止するよう指導している。 (完全停止10点)	10	一旦停止(完全停止)を把握している。 停止との違いも理解している。
	②一旦停止後に発進する際、どの様なことに注意して何を確認しなければならないのか？ またその際に、これを指導しているか？ ⇒発進時常に左右と前方の安全を確認している。(実際にやってみる。〇〇確認！) (左の前方確認:5点、右後方確認:5点)	10	発進時を確認
2 走行速度、3つの急	③リフトの工場内及び構内制限速度は何km/hか？ ⇒工場内4km/h、構内10km/h (各5点)	10	構内4km/h、構内10km/h(可)を把握している。
	④リフト走行時に、してはならない「3つの急」の付く動作とは何か？ ⇒急発進、急停止、急減速 (各3点、全部で9点)	10	3つの急禁止の理由も理解している。
3 走行中に注意すべきこと	⑤リフト後退時に、確認すべきことは何か？またその際に指導しているか？ ⇒発進時常に前方の安全を確認している。(実際にやってみる。〇〇確認！) (左の前方確認:5点、右後方確認:5点)	10	発進時を確認
4 積み降ろし	⑥リフト段積みの際、パレットとパレットとの間に何を確認するか？ ⇒段ボール平板 (平板:10点)	10	
	⑦その理由は何か？ ⇒パレットの滑り防止、パレットと段間に付着したゴミ汚れの荷物への侵入防止 (滑り防止のみで可:10点)	10	
	⑧複数あるパレット(4枚以上)を段積みする時のルールで、以下の何れが正しいか？ A.積み段数の最も多いパレットを最下段に置く B.積み段数の最も多いパレットを最上段に置く C.積み段数の多い少ないに関係なく、任意で置く ⇒A その理由は何か？ ⇒重心を低くすることで、積載物の傾斜や転倒を防止する (理由まで回答して10点)	10	
5 物流部輸送 月間安全取り組み	⑨8月月の輸送課の安全取り組み項目と具体的な指導事項は何か？ ⇒ -リフト作業中、周囲の確認を十分に行う。 -前後左右、何かあるかをきちんと目視して、スピーチを控えて作業する。 (全部答えて10点)	10	指示書で確認通知している。
6 事故発生状況把握	⑩7月と8月に発生した事故の内容を知っているか？ ⇒ ①7/22輸送 MTH工場第1期 リフトによる平製品所1期倒 ②7/23輸送 発射機工 リフトによる倉庫シャッター支柱倒 ③7/24輸送 MTH工場の荷車 リフトによるパレット積載荷物倒 ⇒ ④8/1輸送 定数本社倉庫 リフト後退時に後面に置かれたパレットに接触し製品倒 ⑤8/4輸送 MTH工場出荷場 トラック荷台上のパレット積み下し中に隣のパレット上の製品に接触転倒 ⑥8/9輸送 前野段ボール倉庫 リフト後退時に倉庫壁に衝突倒 (8月も5点全部で10点、一部回答は5点)	10	全部答 「ながら禁止」「後方確認」の実践
		100	

採点は採点式とする。

全10項目あり、100点満点とする。

質問等については、事故の内容・原因・対策が答えられなければ、得点なし。
各項目にて不合格であれば、不合格の理由と指導内容を記事に記載する。

90点以上が合格

不合格者は教育し、再評価する。

合格 指導時を確認

各部署の月間安全取組

9 月 6日 安全衛生委員会

	8 月				9 月		
	目標 具体的に 記入してください	取組み (具体的に1つ決めて 行ってください)	結果	安全 会議	目標 具体的に 記入してください	取組み (具体的に1つ決めて 行ってください)	安全 会議 (予定)
例	作業者の近くにリフトが接近する時は十分注意をする。	声掛け(合図)をし、相手にリフト接近を知ってもらう。	声掛けがしっかり出来事故ゼロ		作業者の近くにリフトが接近する時は十分注意をする。	声掛け(合図)をし、相手にリフト接近を知ってもらう。	
輸送	リフト作業中、周囲の確認を十分に行う。	前後左右、何があるかきちんと目視して、スピードを控えて作業する。	連続してリフトの事故が起こってしまいました。	8/23	リフト作業中、事故が起こらないように集中して作業する。	周囲の安全確認 安全なスピード 荷物の状態をのぞき込んで目視する。	9/20
リフト	熱中症にならない様にする。	空調服を使用し、水分、塩分をこまめに摂取する。	体調不良で休みの人はいませんでした。	8/22	動作前には周囲の確認をする。	リフト作業では後方の確認をしっかり行い、歩行者、ハンドリフトでは声掛け、合図を行う。 指差呼称推奨	9/19
青山	クレーン作業時、上昇確認を徹底する。	朝礼後「上昇は指差し呼称で確認」と唱和する。	目視では100%確認出来ているが、指差し呼称は80%	8/6	クレーン作業時の上昇確認を指差呼称90%以上	上昇は指差し呼称で確認と唱和する。	9/6

ブルーカーゴ株式会社安全衛生委員会

ヒヤリ・ハット体験状況 令和 6年 8月度

No	種類	発生日	職場	体験者職種	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
1	激突ヒヤリ		東伸熱工三重	輸送	リフトでトラックから荷降ろし時、バックで走行中、他社のリフトと接触しそうになりヒヤリとした。
2	激突ヒヤリ	8月3日	NTN三重製作所内	リフト	リフトで場内のW1を取ろうとした際、リフト後方が台車に接触しそうになりヒヤリとした。
3	落下ヒヤリ		NTN三重製作所出荷場内	リフト	フォークリフトで部品を2段積にした後、爪を抜く為後退した。爪の角度が上がり過ぎて、パレットに接触しパレットがズレヒヤリとした。
4	激突ヒヤリ		NTN三重製作所出荷場 ニチユ	リフト	ラックサーバーリフトで走行中、避難通路を閉鎖した為、空いている棚のところから人が出て来てヒヤリとした。
5	転倒ヒヤリ		青山	クレーン	トレーラーでバー材の荷卸し時、玉掛け作業のベルト掛けに気を取られ、レバーロックが床にある事に気づかず、つまずきそうになりヒヤリとした。
6	落下ヒヤリ	8月6日	青山	クレーン	スタクションにパイプ材を入れる作業時、段差ができたので盤木で調整して、そこに次のパイプ材を置いたときに少し傾きパイプ材がすべった為ヒヤリとした。
7	交通事故(道路)ヒヤリ	8月21日	一般道	事務	バイクで片側1車線の旧道を走行。信号のない十字路交差点。左右道路は一旦停止表示あり。交差点に入ったと同時に左から急に発進された。交差点中央で急停止した。
8	交通事故(道路)ヒヤリ	8月21日	一般道	事務	バイクで細い旧道を2tトラックに追従して走行。前方から軽四が来たのを確認したのでトラックに続いて停止。トラックが急速後退開始した。
9					
10					
11					
12					

ヒヤリ・ハット体験状況 令和 6年 8月度

No	種類	発生日	職場	体験者職種	ヒヤリハット体験状況(どのような作業で・何を使用した時・どうなったのか)
1	激突ヒヤリ		東伸熱工三重	輸送	リフトでトラックから荷降ろし時、バックで走行中、他社のリフトと接触しそうになりヒヤリとした。
2	激突ヒヤリ	8月3日	NTN三重製作所 内	リフト	リフトで場内のW1を取ろうとした際、リフト後方が台車に接触しそうになりヒヤリとした。
3	落下ヒヤリ		NTN三重製作所 出荷場内	リフト	フォークリフトで部品を2段積にした後、爪を抜く為後退した。爪の角度が上がり過ぎて、パレットに接触しパレットがズレヒヤリとした。
4	激突ヒヤリ		NTN三重製作所 出荷場 ニチュ	リフト	ラックサーバーリフトで走行中、避難通路を閉鎖した為、空いている棚のところから人が出て来てヒヤリとした。
5	転倒ヒヤリ		青山	クレーン	トレーラーでバー材の荷卸し時、玉掛け作業のベルト掛けに気を取られ、レバーロックが床にある事に気づかず、つまずきそうになりヒヤリとした。
6	落下ヒヤリ	8月6日	青山	クレーン	スタクションにパイプ材を入れる作業時、段差ができたので盤木で調整して、そこに次のパイプ材を置いたときに少し傾きパイプ材がすべった為ヒヤリとした。
7	交通事故 (道路) ヒヤリ	8月21日	一般道	事務	バイクで片側1車線の弓道を走行。信号のない十字路交差点。左右道路は一旦停止表示あり。交差点に入ったと同時に左から急に発進された。交差点中央で急停止した。
8	交通事故 (道路) ヒヤリ	8月21日	一般道	事務	バイクで細い旧道を2tトラックに追従して走行。前方から軽四が来たのを確認したのでトラックに続いて停止。トラックが急速後退開始した。
9					
10					
11					
12					

2024 年度(8月)事業場別労働災害統計報告書

正規社員・外部社員

月 度	事業場	月末 在籍 人数	延 労 働 時 間 数	災害発生件数						一時不能日数 (暦日休業日数)				処置の方法		労働損 失日数	千人率			度数率			強度率
				不 休 業	各休業日区分件数				全労災 合計	各休業日区分日数				外部 医療 機関	診療所 医務室 社内治 療		不休業 災害	休業 災害	全 災害	不休業 災害	休業 災害	全 災害	
					1日~ 3日	4日 以上	障害	休災 合計		1日~ 3日	4日~ 以上	合計	障害										
					A (人)	B (H)	C (件)	D (件)		E (件)	F (件)	G (日)											
8 月 度	給油	1	56.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	輸送	16	2,408.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	リフト	20	3,010.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	派遣 NTN三重製作所	5	648.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	派遣 ウチダ	2	304.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	一般	9	1,167.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	段ボール	3	302.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	青山	2	304.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計	58	8,200.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

薬箱確認 出荷場(8/27)・本社(8/30)・青山(8/30)

感染状況等	8月	2021年8月から累計
新型コロナ感染者	1	33
新型コロナ濃厚接触者	0	16
インフルエンザ感染者	0	
合計	1	49

部署	事故発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日~当月15日
給油		R5.3.16	17	1,125.5
輸送	R6.8.9	R6.8.10	16	28.5
リフト	R6.5.13	R6.5.14	83	10,300.0
段ボール	R6.6.14	R6.6.15	9	624.5
青山		R5.3.16	37	5,536.0
合計			162	17,614.5

会社全体	事故 発生日	起算日	延人数	無事故時間 起算日~当月15日
無事故時間	R6.8.9	R6.8.10	58	36.5
無災害時間	R5.2.20	R5.3.16	1,105	175,698.0

※無災害時間の起算日は本来R5.2.21ですが
集計の関係上R5.3.16にしています。

8月度安全衛生委員会 安全衛生管理トピックス

事業継続計画

Business Continuity Plan

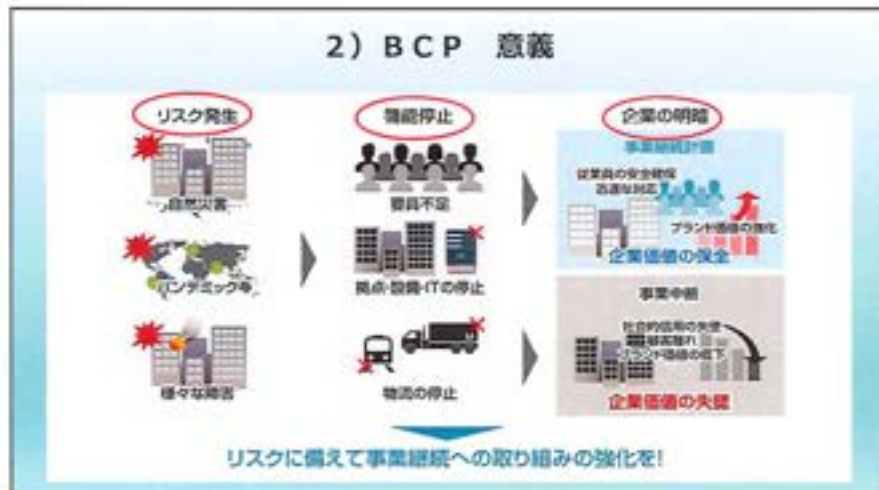
BCP

令和6年9月6日
安全衛生委員会

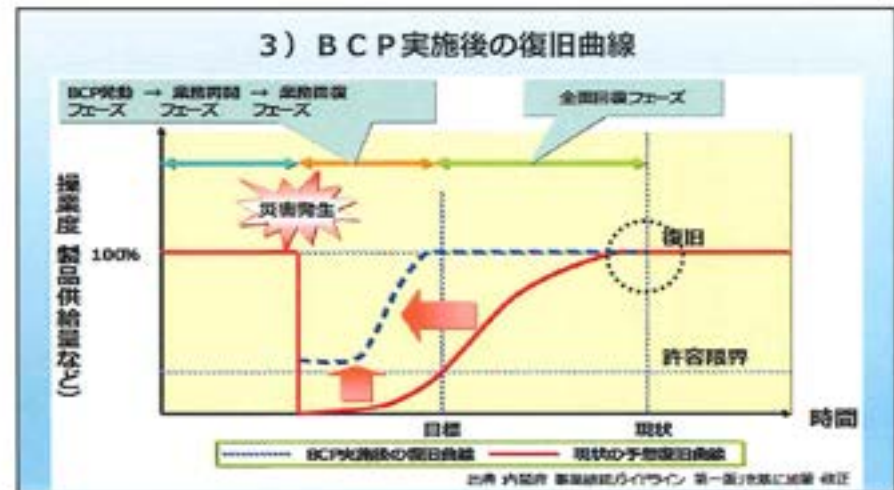
1



2



3



4

4) 物流BCPの基本構成

物流のBCP対策の基本構成	内容
1) 防災対策	事前の予防策・被害の緩和対策
2) 災害直後の措置	避難方法・安否確認・被害把握・支援体制など
3) 復旧対策の実行	業務の優先順位の設定など
4) 平時からの準備	定期的な訓練・BCPの内容を見直す基準

5

5) ポイント1

ポイント1：防災対策～事前の予防・被害緩和（減災）対策～

- ① **ハザードマップ**（最新版）等で事業所や施設の危険度を把握
- ② 必要に応じた防災対策（耐震・浸水・荷崩れ防止等）を実施
- ③ 構内・事務所の整理・整頓
- ④ 消火器、救急用品、避難・救難機材の準備
- ⑤ **備蓄**（食料・飲料水・毛布・救急用資機材等 最低3日分）の実施
- ⑥ 通信手段の多重化
- ⑦ データのバックアップ
- ⑧ 事務所・車両・倉庫など重要代替拠点・設備の確保

6

5) ①ハザードマップ



7

5) ⑤備蓄

備蓄品の一覧 (例)

食料品・飲料	・主食(米類、パン、インスタント食品) ・缶詰 ・脱水食品	・レトルト食品、インスタント食品 ・缶詰、脱水食品 ・レトルト食品
飲料	・ミネラルウォーター、ペットボトル飲料 ・缶詰飲料	・飲料、脱水飲料
衛生・医薬品	・オシロイ ・消毒液 ・救急箱	・オシロイ ・消毒液 ・救急箱
防寒・防雨	・防寒具 ・雨具 ・毛布	・防寒具、雨具、毛布 ・毛布
その他	・懐中電灯、充電式ラジオ ・ラジオ ・モバイルバッテリー (特に災害時電源確保が困難な地域では) ・地図	・懐中電灯、充電式ラジオ ・ラジオ ・モバイルバッテリー ・地図
その他	・トイレ、風呂、キッチン、洗濯機、乾燥機 ・冷蔵庫 ・洗濯機	・トイレ、風呂、キッチン、洗濯機、乾燥機 ・冷蔵庫 ・洗濯機
その他	・現金 (手数料) ・クレジットカード ・現金	・現金 (手数料) ・クレジットカード ・現金

8

6) ポイント2

ポイント2：発災直後の措置

- ①避難【人命が最優先】
- ②発災報告・災害対策本部の設置・BCPの発動
- ③安否確認
- ④被害把握（建物・車両等）
- ⑤社内報告
- ⑥従業員招集
- ⑦関係先への連絡（顧客・行政・業界団体）
- ⑧社内での応援・支援体制の整備
- ⑨業務復旧

9

6) ③安否確認1

運転手用 イザ!というときのための
○ 安否確認カード ○

1. 運転中(例:地震にあった)

- ①路肩など、通行の邪魔にならない場所に停車する。
- ②カーラジオをつけて情報を得る。
- ③警官・道路管理者の指示がある場合はそれに従う。
- ④避難する場合は、エンジンを止め、キーは車内に置いたまま避難する。車検証は持参する。
- ⑤安全な場所に避難したら会社に連絡して指示に従う。

10

6) ③安否確認2

2. 連絡先

- ①自宅
- ②会社 (1)所属する営業所
(2)緊急連絡先(本社など)
- ③運行管理者・上司の携帯
- ④給油所
- ⑤修理工場

3. 緊急避難先

- ①会社
- ②一時避難所 ○○小学校
- ③広域避難所 △△運動公園

11

6) ③安否確認3

4. 通信規制で携帯が通じないとき

- ①公共電話
(テレホンカードは使えないので小銭を用意)
- ②災害用伝言ダイヤル「171」 1⇒録音 2⇒再生
 - 被災地の場合は、自分の電話番号を市外局番からダイヤル(例:1 0YY-YYY-YYYY)
 - 被災地以外の場合は、被災地の相手先(自宅・会社)の電話番号を市外局番からダイヤル(例:2 0XX-XXX-XXXX)

1 録音 (録音時間は30秒以内で「氏名・現在の場所・状況」を)

2 再生 9 終了

※携帯メール

12

6) ③安否確認4

5. 身分証明

①個人データ

- (1)氏名 (2)血液型 (3)自宅住所
 (4)自宅TEL (5)勤務先TEL
 (6)持病・主治医・処方薬(薬名・用法・用量)

②緊急連絡先

- (関係・親戚・知人等。できれば同一地域でない人)
 (1) 氏名 TEL
 (2) 氏名 TEL
 (3) 氏名 TEL

13

7) ポイント3

ポイント3：復旧対策の実行

- ①重要業務・物流サービス提供の優先順位の設定
- ②燃料確保
- ③施設の復旧
- ④その他物流現場での工夫
- ⑤資金対策

14

8) ポイント4

ポイント4：平時からの準備

- ①「想定外」を「想定」する(リスクマネジメント)
- ②定期的な訓練や反復実施を継続する
- ③BCPの継続的な見直し

15

9) ②訓練

- ◆電話・メール等による緊急連絡網・応答訓練
- ◆バックアップデータの稼働訓練 など
- ◆各部署における応急・復旧時の役割分担の確認
- ◆防災担当者等による対策本部の立ち上げ・参集

16